

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 24号

2012/11/12 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、先週市場の動き：6日まで価格は上昇、7日のガーナの産地売りを契機に大幅な下落に

週最高：LDN 市場£ 1586 / NY 市場\$2,462 (共に 11 月 6 日)

週最低：LDN 市場£ 1518 / NY 市場\$2,340 (共に 11 月 8 日)

差額：LDN 市場-£ 68 / NY 市場-\$122

#### 【11月5日】

ニューヨーク市場はいったん上昇したものの、その後はポンド安が圧迫要因となり反落した。12月きりは3ドル安の2444ドルで終了。ロンドン市場の3月きりは続伸。2ポンド高の1580ポンドで引けた。ディーラーらは、コートジボワールではメインクロップがスムーズなスタートとなっているとみられているものの、ガーナで、収穫開始が遅れていることが引き続き下支え要因になっていると指摘した。

スイスのチョコレート製品大手バリーカレポーは、10～3月期のコートジボワールのメインクロップ生産高は、病害や密輸の影響がほとんどなく、106万トン前後に達するとの見通しを示した。

クレディ・スイスの商品アナリストは「ココア相場は、上下どちらの方向に対しても勢いが限られている。生産高は昨年より少ないが、主要消費地である欧州の需要は弱い。需要が弱く、供給も弱い状態だ」と指摘した。

#### 【11月6日】

ニューヨーク市場のココア先物12月きりは、18ドル(0.7%)高の**2462ドル**と反発して引けた。12月きりから3月きりへのロールオーバーに伴い、出来高は膨らんだ。ロンドン市場の3月きりは小幅ながら6営業日続伸し、6ポンド高の**1586ポンド**で引けた。

市場では引き続き、西アフリカ地域のカカオ豆生産動向が注目されているが、乾燥の進行により、黒果病に対する恐れは低下する見込み。

#### 【11月7日】

両市場とも反落。アナリストらは主要生産国のガーナの産地筋売りがあったと指摘した。

ニューヨーク市場は反落。12月きりは63ドル(2.5%)安の2399ドルで引けた。3月きりも67ドル(2.7%)安の2399ドル。

当ぎりの第1回受け渡し通知日を16日に控え、12月きりと3月きりのスプレッド取引が活発だった。

ロイターの暫定データーによると、午後 0 時 33 分時点では、出来高が 4 万 8500 枚と、30 日間平均の 2 倍超となった。

マレックス・スペクトロンのジョナサン・パークマン氏は「基本的には相場はやや買われ過ぎの水準だった。相場下落は驚くことではないし、一段と下落すると思う」と述べ、6 日の終値 2462 ドルより 100 ~150 ドル安となる可能性がある」と指摘した。ロンドン市場も、3 月きりは 36 ポンド (2.3%) 安の 1550 ポンドで終了した。

#### 【11 月 8 日】

両市場とも大幅続落した。スプレッド取引や、ロングの解消売りを背景に、いずれも 200 日移動平均を割り込んだ。

ニューヨーク市場の 3 月きりは 59 ドル (2.5%) 安の **2340 ドル** で終了。終値ベースでは 7 月 26 日以来の安さとなった。ロンドン市場の 3 月きりは 32 ポンド (2.1%) 安の **1518 ポンド** と、終値としては 7 月 24 日以来の安値で引けた。

#### 【11 月 9 日】

不安定に推移する中を反発。ニューヨーク市場の 3 月きりは 19 ドル(0.8%)高の 2359 ドルで終了。ロンドン市場の 3 月きりは 20 ポンド(1.3%)高の 1538 ポンドで引けた。

## 2、ガーナの新物買付け数量前年対比 37%減 (11/9)

ガーナの新物カカオ豆の買付け数量が新物のスタートした 10 月 12 日から 10 月 25 日までで 138,294 トンに達し、これは前年同時期の買付け数量 219,255 トンと比較して、37%減少となることがココボードの示したデーターで判明した。

このゆっくりとした新物の買付けペースの影響で、隣国であるコートジの生産者、輸出業者筋からの情報では、ガーナの通貨であるセディの通貨安とガーナの一部でカカオ豆の買付けに対しての支払いの遅れが発生しており、一部のガーナの生産者ではそれが不満となり、国境を越えて、コートジ側に密輸されたという事例が報告されている。

『ガーナ産のカカオ豆がコートジボワールに持っていかれる可能性はある、しかし、その理由が通貨安というのは理解できない』ココボードのある職員は言う。

ガーナ・ココボードによれば直近の 1 週間の買付け数量は 48,839 トンであり、新物の第 1 週目の 86,028 トンからは減少している。

## 3、アジア市場ココアバターレシオ過去 2 年間の最高値へ上昇 (11/7)

\*ココアバターのレシオは 1.60 あたりで均衡しており、欧州の在庫不足で更に 1.80 まで上昇の可能性。今週、アジア市場でのココアバターのレシオは過去 2 年間で最も高いレベルで推移したが、シンガポールのディーラー筋によれば、来週はクリスマス需要の影響で更に価格が上昇する見込みとの見解を示した。

直近の積み出しのココアバターは今週でロンドン市場価格に対し 1.60 レシオで販売され、先週のレシオと同レベルで推移した。

『2013 年の第 1 四半期積み出しのココアバターはロンドン市場に対して 1.6 レシオくらいの引き合いが来ている。このレシオは、ココアバターをカートンにパックして輸出する際の価格で、欧州市場に運ぶ

場合はレシオとしては更に 0.16~0.17 ポイント追加しなければならない』先のディーラーは説明する。『現在の状況を考慮すると、欧州市場での液体状態でのココアバターレシオの価格は、2013 年の前半は 1.80 レシオ程度でオファーされるべきだろうし、市場的にも在庫の不足はまだ続いている』ココアバターの価格は、ココアバターの製造者である磨砕業者によって、ロンドン、NY の先物市場のカカオ豆価格に掛けるレシオ（比率）にて決定される。指標となる 3 月切りのロンドン先物市場価格は 11 月 6 日時点では 1,586 ポンドであった。現在、チョコレートメーカーは欧州の経済危機の影響などで第 3 四半期の磨砕数量が前年同時期と比較して 16.2% も落ち込んでいる欧州市場からのココアバターの調達に不足感がある為、アジア市場からココアバターを購入している。しかし、世界最大のチョコレート製造会社グループであるバリーカレボーによれば来年 8 月までの世界全体の市場は 1% 以上の成長をすると見込んでいると水曜日に発表している。

#### 4、欧州市場ココアバターレシオはクリスマスシーズンを前に高値維持(11/10)

欧州のココアバター市場価格は年末シーズンを控えた強い需要で今週も高い水準を維持したとトレーダー筋が語った。

金曜日時点での 2013 年 1-3 月積み出しのココアバターの価格はロンドン市場に対して、2.0 レシオで先週の 1.90 レシオから上昇した。(7 月時点では僅か 1.22 レシオであった)

『現時点では、ココアバターには強い需要がある』あるトレーダーは言う。『チョコレート工場は現在年末の休暇需要に備えてフル生産で稼働している』

また、別のトレーダーは 2013 年先物は 1 年間全体の積み時期を通じてココアバターの需要が強かったとも言っている。

NY 先物市場の 3 月切りの 9 日（金）の終値は 7 日~8 日に掛けて 2% も下落した取引の後、あまり変化がなく \$2340/トン、ロンドン市場は僅かに上昇し、6 ポンド高の 1,524 ポンドであった。

一方、トレーダー筋の情報によれば、カカオ豆価格のプレミアムはコートジ産の良い品質のグレードで先週ロンドン市場価格に対して +55 ポンド/トンであったのに対して、今週は +65 ポンド/トン（≒ \$100/トン）であった。

『多くの市場参加者は新規の買付けに積極的な状況ではない為、業界全体の買付け需要は弱まっており、カカオ豆の価格は更に下落すると見込まれている』あるカカオ豆トレーダーは言う。

『今のところ、懸念されていたコートジボアールの構造改革に伴う混乱もあまり見られず、全てが順調にやっているように見える。ガーナは生産数量が昨年より落ち込む見込みだが、まだ十分な数量があると言える』

『世界最大のカカオ生産国であるコートジは 10 月~3 月のメインクロップの収穫量予測は 106 万トンで病害や密輸などの影響も収穫数量に対する影響はほとんどないだろう』世界最大のチョコレート製造会社であるバリーカレボー社は月曜日に予測見解を発表した。

トレーダーは『市場は 10 月にスタートしたコートジの収穫状況がどのように推移するか注目しており、得に新物の船積みが予定通りのスケジュールで行われるかを注視している、もし出荷の遅れの兆候が見えれば市場価格の上昇要因になりえるだろう』と見解を述べた。

## 5、バリー・カレボー社 CEO はチョコレート市場の微増の成長を予測(11/7)

来年の8月までの1年間で世界のチョコレート市場は1%以上成長するだろうと世界最大のバリー・カレボー社が発表した。

『巨大な市場である西欧州と北米市場が伸びると信じている、でも、現在の両市場の状況を見てみると、大きく伸びることはないだろう』同社の CEO である Juergen Steinemann 氏は語る。また『世界市場の成長は1%以上だろう、でもおそらく2~3%にはならない』と付け加えた。

調査会社の MINTEL 社は、西欧州のチョコレート市場が約5%落ち込むことにより、2012年の世界のチョコレート市場は\$845億(≒6兆7600億円)に僅かに減少するだろうと予測している。

Steinemann 氏はまたコートジの生産数量は昨年度の最高生産数量記録を僅かに下回ると見込んでおり、世界全体の生産収量は、おおよそ世界の需要と合致するだろうと見込んでいると語った。

『余剰もないと思うが、一方で大きな不足もないだろう、カカオの価格も均衡して推移するだろうと予測している』

## 6、バリーカレボー社の西アフリカ統括役員はコートジ、ガーナの生産数量予測(11/5)

バリーカレボー社の西アフリカ統括役員の Paul De Petter 氏はコートジの10月-3月のメインクロップの生産数量が106万トンに達し、密輸や病害での影響は少ないだろうとの見解を語った。

また、ガーナのメインクロップについては、62万トン程度の予測と語っている。

## 7、ガーナの通貨安がコートジへの密輸を誘発 (11/8)

恒常的に発生していると言われているコートジからガーナへの密輸がこの数週間、ガーナの生産者の一部がガーナの通貨セディ安とカカオ代金の支払いの遅延を理由に不満を募らせており、CFAフランを求め逆の方向に密輸する珍しい動きが発生しているとコートジの輸出業者と生産者が語っている。

新物のシーズン開始当初は、業界の予測としては、カカオ豆の買付け価格がガーナの方がコートジより高い事より、コートジからガーナへの密輸がかなり増加するのではないかと懸念されていた。

『今は、ガーナ人がここまでカカオ豆を売りに来ているよ、そんなに多くの数量ではないけれど、時々小さなトラックがガーナから来てカカオ豆の荷降ろしをしているよ』ガーナとの国境に近いコートジの Abengourou 地区の北に位置する生産者は言う。

コートジの輸出業者、生産者の情報によれば、ガーナの生産者達は価値の下がっているガーナの現地通貨セディを避けて、フランス植民地であった国々で使用され、ユーロとの交換比率が安定している CFAフランでの即金払いを求めてコートジにカカオを持ちこんできているようだ。

『この現象は確かに、ガーナの通貨価値の下落によるものだ、そして、もし通貨価値の下落が続くようであれば、密輸は更に増えるだろう』アビジャンに拠点を置く欧州の輸出業者は説明する。

ガーナの通過セディは8月からは安定感を取り戻しつつあるが、今年の前半はオイル産業による経済発展により輸入の為のドルの需要が急激に高まり、対ドルで20%の下落となっていた。

また、ガーナの生産者は前シーズンに納めたカカオ豆に対してのココボードの支払いが遅い事も問題視しており、更に密輸を促進させる要因になった。

『前シーズンのライトクロップで確かにいくつかの支払い遅延はあったが、今は既にその問題は解決している』ガーナカカオのある主要なバイヤーは言う。

(\$1 = 1.8837 セディ)

(\$1 = 512.4060 CFA francs)

\*現在の連続シリーズの特集である『フェアトレード特集』は次回フェアトレードラベル・ジャパン様へのインタビューを予定しており、継続しておりますが、今週は引き続き、お休み致します。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp